



## 新しいハザードマップを全世帯に配布します

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域の新たな指定状況を踏まえたハザードマップを作成し、全世帯に配布します。

### 1 新しいハザードマップの概要について

#### ○県が管理する一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域の追加指定を反映

令和3年の水防法改正により、想定しうる最大規模の降雨に対応した洪水浸水想定区域の指定対象に、県が管理する一級河川及び二級河川（294河川）が追加されました。

このうち、花巻市内を流れる29河川について、県が令和5年度から7年度にかけて河川ごとの整備状況や流量などを調査した後、想定される浸水エリアや浸水の深さなどをシミュレーションしました。

その結果を踏まえ、29河川の洪水浸水想定区域を新たにハザードマップに反映しました。

#### ○土砂災害警戒区域の追加指定を反映

令和2年の国による土砂災害防止対策基本指針の変更により、高精度な地形情報を用いて「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を抽出するよう努めることとされました。

県では、この指針に基づいて新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を抽出した後、令和5年度から9年度にかけて抽出箇所を詳細に調査し、その結果を踏まえ、新たな土砂災害警戒区域の指定を進めています。

新しいハザードマップには、令和6年度から7年度までに新たに指定された花巻市内の土砂災害警戒区域302か所を反映しました。

#### ○周知の徹底

ハザードマップを全世帯に配布することにより、市民一人ひとりが危険箇所を把握し、自宅から指定緊急避難場所や指定避難所までの経路を認識してもらうよう、周知の徹底に努めます。

### 2 ハザードマップの作成について

・市内全域を39のエリアに分け、B2サイズで作成します。

・ハザードマップの裏面には、指定緊急避難場所や要配慮者施設、水害や土砂災害の説明のほか、災害時の情報の入手方法や心得、備蓄品や非常持出袋の準備・点検など、平時の備えと災害時の対応を分かりやすく掲載しています。また、スマートフォンなどから必要な情報が閲覧できる二次元コードを表示しています（イメージは別添をご覧ください）。

### 3 配布時期について

・新しいハザードマップは、4月1日の区長配布に合わせて全世帯へ配布します。

・PDF版のハザードマップを市のホームページで閲覧・ダウンロードできるほか、市の地図情報をインターネット上で公開しているポータルサイト「はなまきデジタルマップ」でもご覧いただけます。



ハザードマップ（PDF版）



「はなまきデジタルマップ」